

滋賀県立総合病院の  をお届けします

ふれあいHeart は〜と



庁長 & 病院長
対談インタビュー

(p.2-4)

滋賀県立総合病院
イメージキャラクター
びわずん



vol. **57**

2026年9月発行

特集
1

庁長 & 病院長対談インタビュー

2-4

特集
2

新任医師のご紹介

5-7

おし
らせ

(お知らせ) オープンホスピタル開催・
がんセンター開設記念講演

8

基本
方針

笑顔で患者に寄り添いチームで取り組む姿勢を基本とし子どもから大人まで
安心・信頼・満足の得られる高度かつ専門的な医療の実現

これが、私たちの
理念です

小児保健医療センターとの統合後、 新体制で挑む県立総合病院の未来

Dialogue

足立 総長(前 病院長／現 庁長・総長) × 中村 病院長(新 病院長)



1.新体制の発足から3ヶ月が経って

インタビュアー:新体制となってからすでに3ヶ月が経ちました。立場が変わられてからの3ヶ月はいかがでしょう。

中村(病院長) 正直なところ、自分が病院長職に就任するとは予想もしていなかったので、拝命してからは世界ガラッと変わったような感覚です。今でも呼吸器内科の病棟回診などを行っていますが、外来や入院の受け持ちを以前よりだいぶ減らさざるを得なくなり、現場で患者さんを直接診る時間が少なくなってしまったのは寂しさもあります。

実は自分が病院長になるまでは「病院長って普段何をしているのだろう」とよく分かっていなかったのですが、実際に就任してみると非常に多忙で驚きました。院内外の様々な会議をはじめ、近隣の病院や開業医の先生方へのご挨拶、

さまざまな問題への対処などがあり、病院長としての責任の重さを肌で感じています。まだ

手探りな部分もありますが、前病院長である足立総長がすぐ近くにおられるおかげで、困ったときはいつでも相談させていただきます。最終的な決定は私が責任を持っていますが、事前に総長へご相談できる体制があるのは非常に心強いです。足立総長は、私の病院長としての働きぶりをご覧になってどう思われますか？

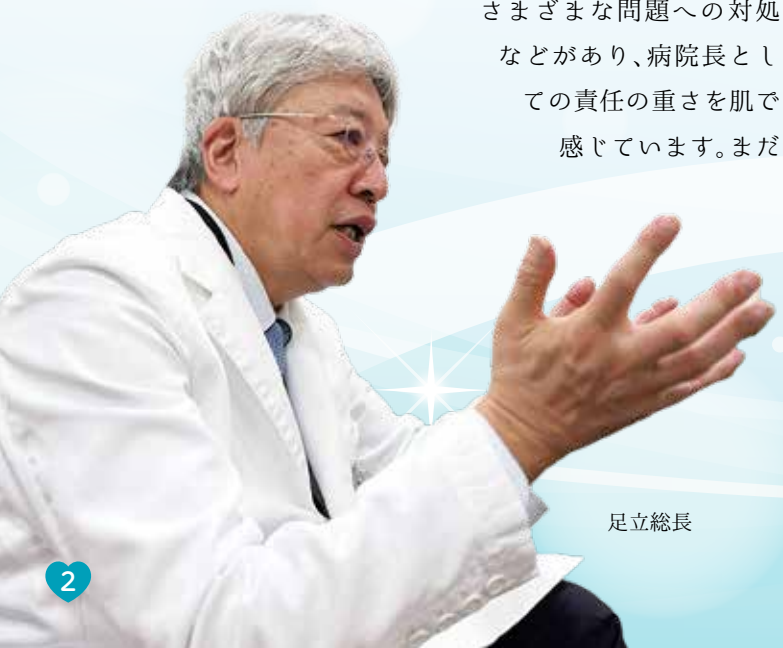
足立(総長) 中村先生は私と違って、長年この病院で現場を支えてこられたからこそ見える視点をたくさん持っておられます。何より、中村先生の明るく飾らないお人柄、庶民派で親しみやすい性格のおかげで、スタッフ皆が相談しやすい素晴らしい環境が作られています。中村先生に病院長になっていただけて、本当に心の底から良かったと思っています。

私は3年前に京都大学から赴任し、総長兼病院長を務めてきました。その当時から中村先生には副院長として支えていただいていた。私が庁長に就任することは予想外の展開でしたが、元々は中村先生の定年と私の病院長任期満了の時期が近かったこともあり、「6年間一緒に二人三脚で頑張りましょう」と話していた間柄です。これまでは紹介や救急を断らざるを得ない場面が多く、「断らない病院」という理想とはギャップがありました。それを中村先生と2人ですべて変えていくか、これまで副院長と病院長という立場でずっと議論を重ねてきましたね。

中村(病院長) ありがとうございます。足立総長は元京大教授という大変素晴らしいキャリアをお持ちですが、決してふんぞり返るようなことはなく、非常にパワフルな「改革派」です。当院は55年以上の歴史がありますが、足立先生が来られてから病院がどんどん良い方向へ変わっていくのを、私も副院長時代から間近で見て感銘を受けていました。

また、足立先生が庁長になられたことで、風通しが格段に良くなりました。現場で何か問題が起きた際にも、すぐにトップである庁長に相談し、指示を仰いだり連携したりできる。このスムーズな意思決定の体制は、病院にとっても非常に大きなプラスになっていると感じます。

足立(総長) 私が庁長をお引き受けした最大の理由は、経営を司る「病院事業庁(事務方)」と、現場を支える「病院事



足立総長

務」との間にあった見えない壁(敷居)を取り払い、コミュニケーションを円滑にしたかったからです。かつては経営管理課と病院事務との間でコミュニケーションがほとんどなかったのですが、今は毎朝のミーティングに病院事業庁の次長や課長も加わり、情報共有を行っています。私は京都大学でも、医師だけではなく看護師や臨床検査技師、理学療法士・作業療法士を育てる「人間健康科学系専攻」に身を置いていました。そのため、医師だけでなく多職種の医療専門職の気持ちがよく理解できるという自負があります。病院経営は、医師、事務方、そして様々な医療専門職が一体となって進めるものですから、大学でのあの経験が今、病院長や庁長としての仕事に非常にうまく活かしていると感じています。

中村(病院長) そうですね。足立総長が多職種の状況をよく理解してくださっているのは、現場としても本当に助かっています。それから、足立先生は関西ご出身ということもあって、いつもユーモアがあって冗談が言えるのが素晴らしいですね。

足立(総長) 仕事はやっぱり楽しく、明るくやらないといけませんからね。「生きてるだけで丸儲け」というマインドで臨んでいます。

2.「小児保健医療センター」との統合と今後の展望

インタビュー:2025年1月に「小児保健医療センター」との組織統合がありました。県立総合病院として、この統合にはどのような変化や展望があるでしょうか。

足立(総長) 元々、当院は高度な医療を提供するがん診療連携拠点病院ですが、小児科医(専門は小児がん)である私がこの病院に赴任した最大の理由は、この小児保健医療センターとの統合が決まっていたからでした。

2025年1月に組織としては一つになりましたが、手術や入院を含めたすべての診療機能をこの総合病院(本館)に集約するためには、大規模な施設整備が必要です。手術室の拡充や、ICU(集中治療室)の増床、透析室の移設など、多くの工事を診療を止めずに進めなければなりません。スケジュール管理が非常に緻密なため、実際の病棟移転は来年度(2027年度)中を予定しています。

現時点では、本館9階に「こども医療センター」として病棟を移転することが決まっています。病棟や手術機能が完全の一つになって初めて、真の統合と言えるでしょう。当院は急性期病院へと舵を切っていますが、9階の病棟

はもともと回復期リハビリテーション用として車椅子対応のシャワーやお風呂などの設備が整っています。小児保健医療センターには重度心身障害や難治性の神経筋疾患の患者さんが多くおられるため、成人病センター時代の遺産を活かしたケアが可能な病棟があって本当に良かったと思っています。

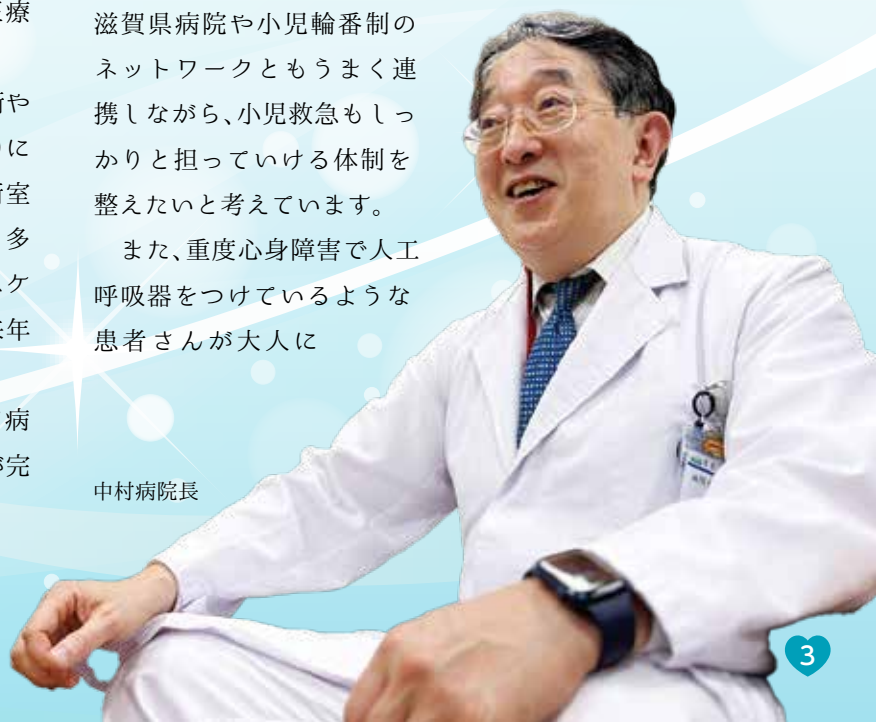
また、この4月には小児泌尿器の専門医が赴任されるなど、小児科だけでなく外科系の専門医も揃って統合効果がすでに現れ始めています。発達障害の専門の先生も加わってくれました。

そして、この統合がもたらす最大のメリットは「移行期医療」の課題解決です。全国の小児病院では、患者さんが20歳を過ぎると成人の病院へ移らなければならないという問題があります。長年診てくれた先生の元を離れ、急に成人の先生に変わることは親御さんにとっても大きな不安です。しかし、当院のように小児病院と成人型の総合病院が一つになれば、患者さんが大人になっても、優秀な成人の診療科(循環器内科や脳神経内科など)で受け入れつつ、子供の頃からその子を知っている小児科の先生が同じ院内におり、病棟に顔を出して見守ることができます。少子化が進む全国の医療機関において、この「小児・成人一体型」のモデルは、素晴らしい先進的なロールモデルになると確信しています。

中村(病院長) 「移行期医療」の観点からは内科医の立場からも非常に重要だと思います。呼吸器内科の領域で言えば、子供の頃からの喘息がそのまま成人期に移行している患者さんなどを、大人になっても引き続きシームレスに診ることができるのは、統合の最大の強みです。

現在、小児科医は若い先生を含めて20人弱が在籍しており、体制としては非常に手厚いです。今後は救急外来の改修なども含め、近隣の済生会滋賀県病院や小児輪番制のネットワークともうまく連携しながら、小児救急もしっかりと担っていける体制を整えたいと考えています。

また、重度心身障害で人工呼吸器をつけているような患者さんが大人に



中村病院長

なられたとき、これまでは小児科の先生がずっと主治医として寄り添ってこられました。今後は、成人の内科病棟や外科系の先生方も慣れていく必要があります。患者さんや親御さんが「大人になっても総合病院でこれまで通りちゃんと診てもらえるのだろうか」という不安を持たれないよう、病棟移転後に向けて、内科・外科、そして看護師や医療技術者なども含めて一体となって受け入れの流れを作っていきたいですね。

足立(総長) そうですね。私たちが位置する「草津・栗東・守山・野洲」という地域は、子育て世代の流入もあり、子供たちを支える当院の役割はますます大きくなります。現在の救急科の診療科長は、小児科専門医でもあり救急専門医でもあるので、小児救急にも力を入れていきます。医療の「均てん化(どこでも一定の質の医療が受けられること)」と「集約化」の両輪が大切です。例えば、高度な専門性が求められる「小児がん」に関しては、滋賀医科大学附属病院へ集約し、当院の強みである「神経難病や筋ジストロフィーなどの重心(重度心身障害)医療」や小児科の人材育成に関しては当院が全県をカバーする、といった役割分担を進めていきたいと考えています。

3.「選ばれる病院」へのマインドセット

インタビュアー: 当院が掲げる重点項目の一つである「選ばれる病院」についてお聞かせください。

中村(病院長) 当院が「選ばれる病院」になるためには、在籍している素晴らしいスタードクターや、質の高い看護師、多職種のスタッフのレベルの高さを、院外へしっかり発信していく必要があります。当院が素晴らしい病院であることは、知っている人は知っていますが、まだ知らない方々にも伝わるよう、広報やSNSを含めた発信を強化していきたいです。また、医療従事者にとっても「ここで働きたい」「働いて良かった」と思える病院にしていきたいですね。先生方やスタッフが十分に力を発揮できるよう、私も全力で

サポートしていきます。

足立(総長) そうですね。患者さんやご家族に選ばれるのはもちろんですが、「若い医師や医療専門職、事務職からも選ばれる病院にしたい」と取り組んできました。最近嬉しいことに、初期研修医が「第1希望」で当院を選んでくれるケースが目に見えて増えています。さらに、初期研修を終えた後期研修医の多くが、内科や外科、産婦人科など複数の診療科にまたがって当院に残ることを選んでくれました。若い先生方に選んでもらえる病院になってきたのは、本当に嬉しい成果です。

臨床検査の分野でも非常に質の高い資格を取得したスタッフが活躍しており、それを目指して近隣からやる気のある検査技師が来てくれています。また、薬剤部の中堅スタッフからも「病院経営改善のためにこういう取り組みをしたい」という前向きな提案があり、看護部長や事務局長を交えてコーヒーを飲みながらフランクに懇談する機会(リーダーズカフェ)を設けるなど、医療職が自ら率先して課題を解決する素晴らしい流れができています。

成人病センターから総合病院へ変わったときも大きな変革でしたが、今回の「小児保健医療センター」との統合により、私たちはさらに大きく、そして素晴らしい病院へと進化していけると確信しています。

中村(病院長) 本当に今は風通しが良く、協力体制が素晴らしいですね。トップである足立先生に意見を言っても怒られるようなことはなく、お互いに建設的な議論ができていますし、職員全員のマインドセットが変わりました。「どうせ言っても変わらない」という諦めの空気がなくなり、若い人のアイデアでも良いものはチームを作って実現していこうという流れができています。「自分たちにもできるんだ」という空気が、組織全体を良い方向へ動かしていると感じます。これからは東の有名病院にも負けないくらの気概を持って、「滋賀にこの病院あり」と言われるようなブランド病院を目指していきたいですね。職員が一丸となって、共により良い医療を提供していきましょう。



特集 2

introduce

新任医師のご紹介 12名

①診療科 ②好きな言葉 ③抱負・得意分野

じょうにん かずよし
上仁 数義



①泌尿器科 ②あきらめずに向き合う
③小児泌尿器科を専門とし、泌尿器の先天異常や、夜尿症などの排尿に関わる病気の診療に携わってきました。難しい病気にもあきらめず、安心して相談していただける医療を心がけています。

さわい ちひろ
澤井 ちひろ



①小児科 ②よく遊び、よく学べ
③これまで滋賀医大小児科で勤務してまいりました。当院では県立病院の強みを活かして関係機関と協働し、神経発達症をはじめとする子どもの診療に携わりたいです。よろしくお願いいたします。

むらかみ ともあき
村上 智昭



①眼科
②温故知新
③患者さんと二人三脚で最善の医療を目指します。

ならばやし まさる
榎林 正流



①放射線治療科
②諸行無常 融通無碍
③放射線治療を受けて良かったなど、患者本人や紹介元の先生方に思っていたような治療を提供していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

いなもと すずむ
稲本 将



①外科 ②高安定・高感度・高淡泊
③これまで大腸疾患に対する腹腔鏡及びロボット手術を中心に取り組んできました。若手外科医の教育を行いつつ、地域の医療に少しでも貢献できるよう、頑張っていきたいと思っております。

たかむら ひろし
高村 裕史



①整形外科 ②千里の道も一歩から
③地域の皆さまに寄り添った丁寧な診療を心掛け、得意分野である足の外科を生かしながら、安心して受診していただける地域医療に貢献していきたいと考えております。

くにつ ともあき
國津 智彬



①小児科
②plant potatoes and dream!
③アトピー性皮膚炎や食物アレルギーなどのアレルギー疾患が専門です。患者さんやご家族の困りごとに耳を傾け、安心して相談できる診療を大切にしています。

えとう しょうへい
江藤 昌平



①小児科
②千里の道も一歩から
③小児科および小児神経科領域の専門的な医療を患者さんに提供できるよう、尽力致します。どうぞよろしくお願いいたします。

よねだ ふみや
米田 史哉



①循環器内科
②好きこそ物の上手なれ
③京都大学医学部附属病院で主に不整脈診療(心臓電気デバイス、カテーテルアブレーション)に従事してきました。患者さんに還元できるよう尽力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

もり ようたろう
森 陽太郎



①心臓血管外科
②日々修練
③救急医療から専門性の高い手術、周術期管理まで幅広く関わり、患者さんに安心していただける医療を提供させていただきます。

おざき まき
尾崎 麻希



①リハビリテーション科
②笑う門には福来る
③この度ご縁があり滋賀県で勤務させて頂くことになりました。地域の方々のお役に立てよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

かんばやし しょうた
上林 翔太



①産婦人科
②誠実に
③女性の健康を支える医療に貢献したいと考えています。患者さんが安心して相談できる診療を心がけていきたいと思っております。

後期研修医(シニアレジデント) 24名

①診療科 ②好きな言葉 ③抱負・得意分野

たけだ ひとみ
武田 瞳



①小児科 ②継続は力なり
③滋賀県の子どものために精いっぱい働きたいと思っております。未熟で至らぬ点も多いですがどうかよろしくお願いいたします。

たなべ そうた
田邊 颯太



①小児科
②SOLID STATE SURVIVOR
③東京、長野を経由し、地元の関西に戻ってきました。子どもの目線に立って、病院に来ることが嫌にならない診療を心がけます。

みどりたに はじめ
緑谷 創



①外科 ②継続は力なり
③ランニングで培った体力とフットワークを活かし、地域医療に貢献できるよう、長時間手術や緊急手術など日々研鑽に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

後期研修医(シニアレジデント) 24名

①診療科 ②好きな言葉 ③抱負・得意分野

introduce



しらい らずむ
白井 良宜

①耳鼻科
②Touch of Grey
③患者さんの生活・人生において最善・最善となるような医療を提供したいです。



なぎら ひろむ
柳楽 拓夢

①麻酔科
②彼を知りて己を知れば百戦あやうからず
③日々の症例を大切に学んでいきたいと思ひます。精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。



にしだ
西田 あかり

①放射線治療科
②千里の道も一歩から
③地元である滋賀県の医療に携われることを嬉しく思っております。笑顔で丁寧な診療を心がけ、一人一人に寄り添った医療が提供できるように精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。



きよはら りょうた
清原 亮太

①救急科 ②「真実、誠実、謙虚」
③救急科の清原亮太と申します。救急医として京都と大阪で経験を積み、地元滋賀に戻ってきました。滋賀の救急医療に少しでも貢献できるようがんばりたいと思ひます。よろしくお願い致します。



まるも けんたろう
丸尾 健太郎

①免疫内科 ②上善は水の如し
③1年間お世話になります医師5年目の丸尾と申します。リウマチ性疾患を中心に幅広く診療できるように精進します。よろしくお願い致します。



かとう なおこ
加藤 直子

①脳神経内科 ②温厚篤実
③温厚篤実を心に留め、周囲の方々から信頼される存在になるよう努めてまいります。業務にも早く慣れ、チームの一員として安全で質の高い医療の提供に貢献できるよう精進いたします。



はせがわ かずや
長谷川 和哉

①循環器内科
②人間万事塞翁が馬
③循環器内科の専攻医として皆様の健康の一助になれるよう頑張ります。



まつお ゆづき
松尾 優月

①循環器内科
②継続は力なり
③地域の皆様により良い医療をご提供できますよう尽力致します。よろしくお願い致します。



ほりかわ ひろあき
堀川 裕明

①腎臓内科
②人間万事塞翁が馬
③滋賀で学んだ経験を生かし、腎臓内科・透析管理を中心に、患者さんに寄り添った診療に努めてまいります。



ふくだ なみこ
福田 奈充子

①消化器内科
②笑う門には福来る
③新たな環境で皆様から学び、一日でも早く戦力となれるよう邁進します。患者さんやご家族に寄り添った温かな医療を提供するため、家庭との両立を図りつつ、誠心誠意、日々の診療に努めます。



たかはし ゆうや
高橋 宙矢

①消化器内科
②人事を尽くして天命を待つ
③初期研修医として一年間を過ごした病院で再び勤務することになりました。至らない点も多いかと思ひますが、少しでもお役に立てよう頑張ります。よろしくお願い致します。



しばの よしき
芝野 良紀

①呼吸器内科
②日々精進
③1つ1つの経験を大切に、医師としてさらに成長できるように努めていきたいと思ひます。よろしくお願い致します。



きたはら たいし
北原 大嗣

①小児科 ②日々是好日
③4月から入職しました北原大嗣です。日々を大切に、一日一日を丁寧に積み重ね、前向きに学び続けてまいります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思ひますが、何卒よろしくお願い致します。



たむら ゆうき
田村 優樹

①脳神経外科 ②禍福は糾える縄の如し先ず院まり始めよ
③兵庫県出身。大阪で初期研修を修了し京都で専攻医を始め、この度滋賀にて赴任いたしました。チャンスは手ずから掴まねばならぬと考えています。趣味は日本酒と音楽です。何卒よろしくお願い致します。



みやかわ てつ
宮川 哲

①泌尿器科
②為せば成る
③泌尿器専攻医として、日々学ぶ姿勢を大切にしながら一例一例を丁寧に診療します。患者さんに安心していただける医療を目指していきます。



おおさわ ひなた
大城 陽

①産婦人科
②感謝
③産婦人科医として、地域の皆様に寄り添った医療を提供できるよう精一杯尽力しますので何卒よろしくお願い致します。



ひらまつ さくら
平松 桜

①産婦人科 ②頑張って働いたらメシがうまい！
③一日も早く皆様のお役に立てよう邁進いたしますので、お気軽にお声がけいただければ幸いです。至らない点もあるかと思ひますが、よろしくお願い致します。



よしおか たくま
吉岡 拓真

①皮膚科
②泰然自若
③守山といえば私は蛍が印象的です。初めて見た時はその美しさに感動しました。地域の皆様に貢献できるよう精一杯努めてまいります。

シニアレジデント・・・後期研修医・専攻医(卒後3年目～7年目)

ジュニアレジデント・・・初期臨床研修医(卒後2年間)

ジュニアレジデントは色々な診療科をローテーションしながら診療にあたります。



わかつき かい
若月 開

①放射線診断科 ②なし
③令和8年度より赴任しました、放射線診断科の若月と申します。画像診断だけでなく、IVR(生検、ドレナージ、血管内治療)においてもお力になれる様、働いて参ります。



はしもと かずき
橋本 和樹

①歯科口腔外科
②和を以て貴しとなす
③4月から歯科口腔外科で勤務させていただくことになりました。歯科の先生方および各診療科の先生方と協力しながら患者さんにより良い医療を提供できるよう努めてまいります。



おおひがし ちかお
大東 親生

①小児科
②赤心
③小児専門医、また小児神経専門医を目指して進みます。至らぬところばかりですが、誠実に努めます。

初期研修医(1年目) 12名

introduce

①好きな言葉 ②抱負・得意分野



きうち けんたろう
木内 健太郎

①心は熱く、頭は冷静に
②初期研修では全てから学びを得る気概を持ち、地に足をつけ精一杯努めてまいります。
至らぬ点も多いかと存じますが、チーム医療に貢献できるよう尽力いたします。何卒よろしくお願いたします。



たけだ こうき
武田 航輝

①人間万事塞翁が馬
②体力を武器に、謙虚な姿勢で邁進します。一日でも早く貢献できるよう、日々の経験を大切に吸収し、患者さんに「診てもらえてよかった」と思っていただけの誠実な医師を目指し、全力で職務に励みます。



たにぐち かずき
谷口 和貴

①病気を診ずして病人を診よ
②確かな知識と技術を磨きつつ、対話を大切に一人ひとりと向き合います。多職種の皆様と信頼を築き、患者さんからも周囲からも頼られる医師を目指します。精一杯努めますので、宜しくお願いします。



たまき みゆ
環 美優

①失敗して反省しても後悔はするな
②生まれ育ったこの滋賀県で医療に貢献できるよう、医師としての基盤をしっかりとし、築いていきたいと思ひます。人との会話を記憶することが得意なので、患者さんに寄り添った医師を目指したいです。



にしむら たいき
西村 泰生

①人間万事塞翁が馬
②至らない点も多いかと思ひますが、より多くのことを学び、成長していけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



はやし さとし
林 悟志

①雨垂石を穿つ
②医師として学ぶべきことはたくさんありますが、一つひとつの経験を大切に、言葉通り日々努力することを忘れず研修医として臨みたいと思ひます。よろしくお願ひします。



ひらた たいせい
平田 大晟

①初心忘るべからず
②患者さん一人ひとりに寄り添った医療を提供できる医師を目指します。関わる方々への感謝を忘れず、日々謙虚に学び、信頼される存在となれるよう努めます。



ふるかわ さき
古川 咲

①努力に勝る天才なし
②常に学ぶ姿勢を忘れず、誠実に取り組むことを心がけ、チーム医療に貢献できるよう努力します。また、患者さんやご家族との信頼関係を大切にしながら、思いやりのある医師になりたいです。



やぎ けいた
八木 啓太

①継続は力なり
②医師として未熟ではありますが、仕事に対して誠実に取り組み、先生方にご指導を仰ぎながら日々成長していきたいと考えております。至らぬ点も多々あるかと思ひますが、よろしくお願い致します。



よしだ あやの
吉田 彩乃

①今日は今日しかない。
②研修医の2年間では、医師としての基盤となる知識や技術の修得を目指して、日々積極的に行動し、分からないことはその都度学び、確実に自分のものにできるように努めていきたいです。



やまむら ゆうき
山村 勇貴

①人事を尽くして天命を待つ
②ここで医師としての第一歩を踏み出せることを大変うれしく思うとともに、身の引き締まる思いであります。至らぬ点も多いかと存じますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。



たけうち ゆうき
竹内 祐貴

①虎穴に入らずんば虎子を得ず
②患者さん一人一人に寄り添い、思いやりの心を持った医師を目指したいと考えています。主体的に学びながら経験を積み、同期と切磋琢磨し成長してまいります。

公式キャラクター
「びわずん」

滋賀県立総合病院

申込不要
参加無料

ダヨ

オープン ホスピタル

誰でも参加できる！病院のお祭りを開催！

2026 **11/8** 日

キッチンカー
もくるよ！

10:30 AM - 3:00 PM

10:20 からオープニングセレモニーを行います！

開催場所は
病院

ダヨ

がんセンター開設記念講演開催予定！

健康教室

吹奏楽
演奏会

がん診療
セミナー

ドクターカーに乗れる！

消防車もくる！

おくすりをつくってみよう！
レントゲン撮影をしてみよう など

体験コーナーがたくさん！



ふれあいHeart

Vol. 57 2026年9月

発行・編集／広報委員会

滋賀県立総合病院 経営強化推進室

〒524-8524 滋賀県守山市守山5-4-30 TEL 077-582-5031(代)

外来ブロック・会計への問い合わせはナビダイヤルをご利用ください

ナビダイヤル：0570-00-5031